

校友会館は白紙に

新しい方向性を確認

昭和45年、校友会が発足して以後、最大の関心事が校友会館の建設であった。しかし、前回の代議員会において、諸般の事情により校友会館の問題については、白紙に戻すことを確認した。

今回、これまでの経過をお知らせし、校友会の新たな方向施策に協力のあらんことを願う次第である。

昭和47年ごろより積立金を計上してきた。残金についても積立をおこなってきた。その積立金が二千万円台になり、金額も大きくなってきたので、はつきりとした形にすべしとの意見が出てきた。ちょうどその頃役員会を開催するに、低料金の会場をさがすに困難をきたした。そこで校友会館を持てば会議もできるし、会員も利用できるのではというところになった。

その後、毎年この積立金も増え続け、どのような形態にすべきか話となった。(1)分譲マンションのように市内の便利な所に買う。(2)建物を買取る。

(3)物件を買い取る。(4)貸事務所を借りる。その他種々の形が出た。第一次の答申も多様な意見があるため、会議問題に関する小委員会をもつことにした。このとき谷口義清氏(交短15座大1期生)が委員長になり、その骨子の答申がなされた。

●学内に会館を設置
メリット：準備員である学生も利用できる、利用頻度は高い。
デメリット：本来の目的である正会員(卒業生)の利用頻度が低い。

●学外に会館を設置
メリット：市内に設置すれば便利である。
デメリット：大きい利用頻度が望めない。
●場所の検討
小委員会より答申がなされた結果、学外に会館を設置することを優先することに決定した。それは大阪市内でもって場所をさがすが、市内には限界があり、不動産のこともあり、法人大学当局に幹施をお願いした。

野田阪神での経緯
その後、大学当局より紹介されたところ、「日本橋」「森の宮」などを見たが、手違いなどにより決すことができなかった。その間、野田阪神の物件はどうかという点になり、検討の結果場所など了解することとなった。建物は新しく建て替え一部の内入れにしようという事になった。全体の利用計画については、大学当局において歯科学院を設置する予定にあり、歯科衛生士学院の設置申請について新たな問題が発生した。それは雑居ビル形態でなく専用の建物であるかとの確認を再三にわたって関係官庁より念をおされた。このことにより校友会の入居が困難であることが明確になってきた。この間、会長と大学当局と話し合いをおこない、最終的に役員会において、野田阪神については断念することとなった。

以上のような概略により今年4月1日より新しい里会長に引き継がれた。幹事会においても会館について、すべて白紙の状態に戻すことを確認し、この問題について特別委員会をつくり諮問することに決定した。特別委員会の答申

新会長のもと、この問題について新たな展開をすべし、会館積立金問題特別委員会は村田陽行氏(交短5期)を委員長に審議された。さる9月11日、次の答申がなされた。(答申を参照)

現在、校友会は会館積立金問題について新しい方向を踏み出そうとしています。

論が多くなった。その理由として、昭和48年当時の会館を検討していた時期と社会状況が変わったこと、管理運営が思ったより費用がかかり大変なこと、会議など校友会員の要望と事項が事務室やホテルの利用により対応できるように、校友会自体も充実してきたこと。

結果、会館については、あらゆる形態にても所有することむつかしく断念する。これまでの積立金については、基金として別途に運用する。以上のように答申いたしました。

以上

結果、会館については、あらゆる形態にても所有することむつかしく断念する。これまでの積立金については、基金として別途に運用する。以上のように答申いたしました。

以上

昭和58年度地区父兄懇談会

校友会より11名出席し奮闘

五十八年度も、大学後援会主催の地区父兄懇談会に、各会場ごとに、その地区に在住されている校友会員が出席し、在学生の父兄に対し、自分の在学時、就職活動の話、現況報告の話、体験からにじみ出る後輩達の心構えを切々と語り、挨拶されました。以下各会場ごとの出席者を紹介します。

- 広島会場 中島雪夫氏(48経営卒)
- 米子会場 福井正士氏(48土木卒)
- 京都会場 松尾昭彦氏(40交短自卒)
- 和歌山会場 里 昇氏(27交短理卒)
- 奈良会場 小川 秀一氏(46交機卒)
- 神戸会場 神戸 司氏(46経営卒)
- 名古屋会場 渡辺弘基氏(40交短理卒)
- 金沢会場 水上了文氏(41交短自卒)
- 鹿兒島会場 有馬順一郎氏(44交機卒)
- 高松会場 正岡俊彦氏(38交短自卒)
- 岡山会場 光岡明弘氏(40交短理卒)



神戸会場

役員紹介



里 昇 新会長

昭和58年3月22日の幹事会において、会長、副会長および補充代議員が選出されました。
任期は昭和58年4月1日より昭和60年3月31日まで。

- 会長 里 昇
副会長 村田 陽行
眞田 卓克
池田 義隆
梅本 昌則
光岡 明弘
中山 幸蔵
吉本 秀徳
古内 栞
山西 義彦
八幡 建一
馬込 正勝
藤家 正明
森田富士男
内藤 幸明

(47)(46)(46)(45)(44)(44)(43)(43)(40)(44)(41)(41)(40)(39)(38)(31)(28)

- 加藤 秀三
柴田 栄久
遠藤 誠俊
雑賀 康光
籓谷 正則
山本 明
西川 由広
中川 臣二
吉岡 正澄
大瀬戸善典
神田 芳雄
奥田 淳一
林 博行
門平 吉照
奥田 昭司
平井 昭司

- 〇六斎堂 博氏
昭和45年度 土木卒
昭和58年6月6日逝去
〇武田 平七氏
元土木工務科教授
昭和58年8月24日逝去
〇岸田 武夫氏
元技術員(工学部)
昭和58年9月11日逝去

結果、会館については、あらゆる形態にても所有することむつかしく断念する。これまでの積立金については、基金として別途に運用する。以上のように答申いたしました。

以上

以上

チャイム

現地調査研究で出雲玉造温泉に行く機会を得ることが出来た。出雲玉造は玉造遺跡で有名で、三種の神器の一つである勾玉(まがたま)の宝庫である。食べ物では出雲そば、穴道湖の白魚、あまきき(わかさぎ)など有名な名産がある。玉湯川の川沿い側にはホテル、みやげ物屋がぎっしりと並び、所狭しと建っている。みやげ物屋の多くは玉作材料として名高い「め」の「細工」が豊富である。玉造温泉周辺には出雲玉作資料館があり、勾玉の製作過程と各種古代の玉の陳列があり、古代玉作のロマンに浸れる。資料館は丘陵にあり、出雲玉作史跡公園と玉湯川沿いのホテルを一望に見渡せる。玉湯川沿いには玉作湯神社があり、玉と湯を守る神様が祭られている。古代の人々が一生懸命玉作に精を出し、「いで湯」で身体を疲れを落とす。そんなことを妄想しながら散策することが出来る。近年の旅行の傾向としては夏は海、冬はスキーと固定化しつつある。残念なことである。

素朴な所に出かけ、いであらゆる温泉を散策する。史跡などをめぐり、古代のロマンを求め、すばらしいことではないであろうか。海に行くと、人の頭ばかりを見た。スキーに行くと、耳に話があったというより、「ゆとり」というものが、心の中に生まれてくる。小生は三回目の玉造訪問であるが、今回は研究に没頭して三葉つくりの周辺を散策し、古代のロマンに浸りたいものである。

(U)

カラオケも登場しムードも最高 大阪日産モーター支部総会

大阪日産モーター支部第三回総会は六月二十五日④中之島センタービル31階トップラウンジにて出席者34名で行われた。

第一部の総会では支部長西川巖氏(38交短自卒)の挨拶が始まり、次に会社側から、取締役高橋万之助氏(採用教育部長)より喜びの挨拶。そして校友会本部より総会開催の祝辞を述べました。次に議題に入り、57年度活動報告並びに会計報告があり、つづいて役員改選が行われましたが、

結成されてまだ二年というところで、満場一致で再選されました。

第二部では、懇親会パーティが始まり、会員並びに会員家族紹介の後、先輩後輩が酒を交わしながら懐かしい話に花が咲いてました。又、家族連れが多数参加していましたが、夫婦婚約者および親子でのカラオケ大会がにぎやかに楽しめられた。最後に皆んなの健康を誓い閉会しました。

尚、再任されました役員を紹介いたします。

- 支部長 西川 巖
- 副支部長 古本 悟
- 大野木弘文
- 監事 角田 定雄
- 唐津 登
- 会計 (大久保記)



支部総会風景

燃える九州男児の心意気 大分県支部総会

八月十三日、台風の影響からか今にも崩れそうなお空の中、大分市・第一グロリアホテルにて昭和五十八年度大分県支部総会が十八時から開催された。

お盆中で、しかも台風接近のため若干の欠席者が出たが、会員の35%に当たる七名もの人達が参集した。県内一巡で、しかも一泊総会とする方式がすっかり定着し、これを心待ちにしている会員も多いとか。準備に追われる中、汗を拭きながら小細副支部長が楽しそうに話をしてくださった。

その他議題では、この支部の直面する問題が熱心に議論され、総会の充実(意識の高揚、連絡体制の確立)名簿充実委員会設置、高校教師訪問(高校生へ産大紹介受験)、来年の総会開催予定地(中津市)等が挙げられた。校友会本部の抱える諸問題と同じ事をこの九州の一支部が、熱心にかかっても熱感 燃えられた意見を相談に乗るといふ事までや

つづいて役員改選が行われましたが、

つづいて役員改選が行われましたが、



校友会大分県支部総会風景

つづいて役員改選が行われましたが、

つづいて役員改選が行われましたが、

!!郷土で会員と親しく懇談!! 和歌山県支部総会

残暑まぶしい9月10日④午後、和歌山県支部の総会が開催されました。里会長の本拠である県経済センタービルにおいて以下の事務柄が決まりました。

新支部長 山西 義彦氏 (昭和44年経営卒) 海南市役所 用地係長

副支部長 土橋 正昭氏 (昭和48年土木卒) 和歌山市役所

また、里会長は支部結成など支部のために、多大な功績があり相談役に就任していただくことに、満場一致にて決定した。

里 昇氏 (昭和28年交短卒) 和歌山県商工連合会 事務局長

その他、事業報告や収支決算報告、新しい事業計画などの報告がなされ決まりました。

総会後、懇親会に入り、自己紹介や近況を話し和やかな雰囲気となった。里会長を初め和歌山の有志のバイタリには、頭が下がらる思いである。支部結成を推進している折、和歌山県を本手に引き続いて結成されるよう希望したい。

本部より出席 真田副会長 (写真は和歌山県支部の会員名簿です)

大阪産業大学校友会 和歌山県支部会員名簿

- (昭和57年7月25日現在)
- 大阪産業大学校友会和歌山県支部
- 昭和57年7月25日現在

結婚 おめでとう

昭和58年3月26日～昭和58年6月11日
事務局へ連絡のあった方のみ掲載
しています。事前に連絡があれば、
校友会名で祝電をうちます。

久保 雅洋さん(9期経営) 正平 輝次さん(10期土木) 正田 節男さん(12期経営) 増田 博美さん(11期機械) 岡 純一郎さん(8期機械) 初瀬川 雅洋さん(6期機械) 岩田 幸孝さん(9期土木) 池田 高相さん(9期機械) 池田 健一さん(9期交機) 西 利昭さん(10期土木) 南 春次さん(8期土木) 南 卓司さん(13期機械) 前田 卓司さん(13期機械) 古田 肇さん(13期交機) 板倉 健二さん(9期土木) 田中 宏之さん(15期短自) 河野 裕弘さん(13期短自) 橋本 裕司さん(14期交機) 上田 宗次さん(11期経営) 伊藤 富美子さん(14期経営) 神田 保男さん(10期経営) 加藤 史雄さん(9期経営)

昭和57年度 決算

収入の部 (単位 円)			
科目	予算額	決算額	摘要
前期繰越金	4,500,000	5,548,783	
校友会会費	31,400,000	33,480,000	20,000円×1,674人
会費収入	785,000	580,000	総会、代議員会、会報購読料他
預り金	14,200,000	16,060,000	20,000円×803人
雑収入	1,500,000	931,437	名簿販売、広告、利息他
合計	52,385,000	56,600,220	

会館建設積立金 (単位 円)			
科目	予算額	決算額	摘要
前期繰越金	99,345,978		
57年度分積立金	15,000,000		
期中受取利息	10,220,946		
合計	124,566,924		

支出の部 (単位 円)

科目	予算額	決算額	摘要
会議費	2,228,000	1,552,915	675,085
総会費	980,000	1,201,095	△ 221,095
通信費	1,938,000	1,542,350	395,650
印刷費	480,000	381,996	98,004
備品費	400,000	53,000	347,000
旅費	1,120,000	650,400	469,600
庶務費	200,000	373,690	△ 173,690
消耗品費	362,000	645,532	△ 283,532
消費金	1,100,000	1,000,000	100,000
機関誌	640,000	856,250	△ 216,250
記念品	1,825,000	1,453,375	371,625
字生助成金	3,350,000	3,039,000	311,000
支部結成準備金	1,120,000	1,420,730	△ 300,730
調査費	460,000	649,350	△ 189,350
記念事業費	60,000	39,000	21,000
記事費	2,653,000	260,770	2,392,230
広報費	1,200,000	630,420	569,580
人件費	1,100,000	1,079,305	20,695
雑費	860,000	793,185	66,815
予備金	1,109,000	433,126	675,874
小計	23,185,000	18,055,489	5,129,511
積立金	15,000,000	15,000,000	0
次期繰越金	7,484,731		△ 7,484,731
預り金	14,200,000	16,060,000	△ 1,860,000
合計	52,385,000	56,600,220	△ 4,215,220

屋内スポーツ練習場竣工

さつそく練習開始



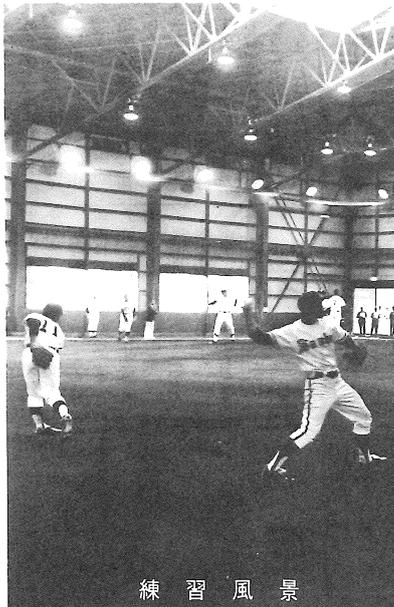
外観

このたび、学校法人大阪産業大学屋内スポーツ練習場が生駒校地に完成。去る七月十五日(金)小雨降るなか多数の来賓を迎え、学園、工事関係者の出席の下に同練習場の竣工並びに落成披露パーティーが行なわれま

なお、屋内スポーツ練習場の概要は別表の通りです。(学校法人大阪産業大学 学園報より)

学校法人 大阪産業大学 屋内スポーツ練習場概要

敷地面積	11,790.54㎡	構造	鉄骨造・平家建 簡易耐化建築物
建築面積	2,703.75㎡	床	屋外 埋土整地 屋内 黒土整地
床面積	2,604.50㎡	壁	角波カラー鉄板 一部PALC版上 リシン吹付
最高の高さ	15.40m	軒の高さ	角波カラー鉄板 一部バンボークライ
軒の高さ	9.45m	天井・屋根	



練習風景

高等学校大東校舎授業開始

大学東部キャンパス内8号館西側に新たに5階建てで茶褐色のタイル張りの建物が出来上がっている。これが今春開校した高等学校大東校舎である。

この増設は、今後5年先をピークとして高校生の修学数が急増する傾向にあり、公立高校の限界を越えるため私立学校に對して大阪府が要請してきたものである。

昨年8月23日より着手した工事は3月24日に落成した。1階には講堂、5階には図書室、実験室、保健室がある。

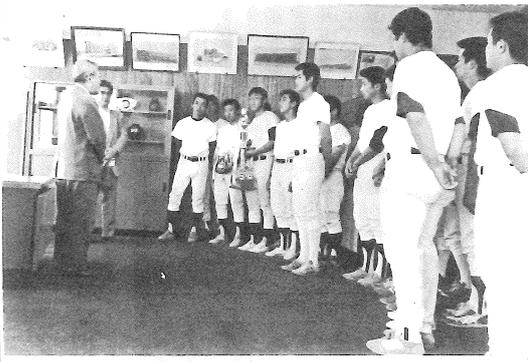
4月7日には入学式が行なわれ、衛生士としての自覚を新たにした。二年後、彼女達第一期生の活躍を期待したい。

胸ふくらませて入学式

大阪産業大学史に新たなページが加えられた四月八日、大阪市福島区の阪神野田駅前の大阪産業大学附属歯科衛生士学院の八階講堂に会報にありますが、設置が認可された。入学式

現代、歯科医療の一端を担い、社会に貢献すべく、二年前より計画準備され、今年三月一日付で文部省より設置が認可された。入学式

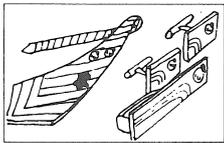
硬式野球部 一部復帰なる



阪神大学野球連盟II部春季リーグ戦において本学硬式野球部が8勝0敗の完全優勝を遂げ、I部最下位の活躍を期待したい。(加門記)

校友会の記念品を

申込みましょう



- ① ネットタイ
- カフスポタン

各 2,000円

申込先…校友会事務局(6号館3階)
申込方法…現金をそえて申込む(郵送も可)
〒574 大東市中垣内3-1-1
TEL 0720-71-1251 (内線381)
大阪産業大学校友会

会報に広告掲載を

会報20号より広告欄をもうけました。校友の活躍している職場や自営している会社の宣伝に利用してください。

- 要項
- 広告型式 各ページ下段、白黒刷り
 - 大きさ 1枠 (タテ7.2cm×ヨコ6.0cm)
 - 掲載料 1枠10,000円 4枠まで
 - 申込方法 申込書に料金を添えてお送り下さい。

(詳細については校友会事務局に問合せを TEL 0720-71-1251 (内線) 381)

卒研対抗ソフト

昭和58年7月28日(木)、土木工学科卒業研究生主催の第5回土木工学科卒業研究対抗ソフトボール大会が開催されました。大会は、9研究室13チーム(卒研究生150名、教職員18名)が参加

ひ、晴天の中、熱戦が繰りひろげられました。決勝戦は、2年ぶり3回目の土質工学、道路工学研究室が雪辱を遂げ3回目の優勝を果たした。今回は、昨年度より多くの参加を頂き、卒業研究生の参加を計ることが出来ました。(工藤記)

校友会パーティーごあんない

製しといっばいの大企画



昭和58年度

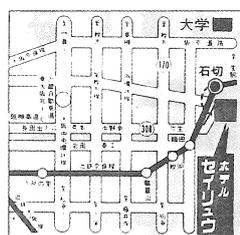
校友会総会のご案内

ご家族連れで気軽に参加してください。

- 日時 11月6日(日)
- パーティー 15:30~
- (代議員・総会 14:30~)

場所

●ホテルセイリユウ
〒579 東大阪市上石切町1-11-12 ☎0720-81-5001



近鉄電車で石切駅下車徒歩5分(難波・鶴橋から準急約20分)
駐車場の関係上できるだけ電車をご利用ください。

大阪産業大学校友会

〒574 大阪府大東市中垣内3丁目1-1 ☎0720-71-1251

会費 ¥3,500 (会員のみご家族無料)

研究室訪問

溶接技術一筋に

今回は溶接実験棟(旧鍛造実習場)におられる片田先生を訪ねた。

片田先生は溶接一本で生きて来られた溶接の神様である。昭和十二年三菱重工神戸造船所に入社され、本学の溶接研究室にいられたのは昭和五十二年であり、三菱重工神戸造船所では実に四十年間溶接の業務に就かれていたのである。片田先生の若きころを振り返って、当時(昭和十七、八年)の思い出話を聞いてみたい。

管理職になられてからは現場にはタッチしなくなりましたが、新製品の溶接方法を考えたり、仕事の改善、そして時間の削減などに努力したとのことであった。最後に人の溶接跡を見る

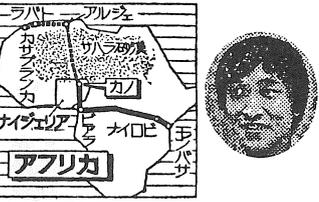
第五回

他大学訪問

「近畿大学校友会を訪ねて」

台風が北上中のおり、9月27日に近畿大学校友会を訪問した。どこも同じことなのか、自動車がキャンパス周辺を埋めていた。本館3階に校友会事務局があった。さっそく村上課長と面

永瀬氏 アフリカ 横断の快挙



台風の北上中のおり、9月27日に近畿大学校友会を訪問した。どこも同じことなのか、自動車がキャンパス周辺を埋めていた。本館3階に校友会事務局があった。さっそく村上課長と面

本学工学部機械工学科(52年度卒)永瀬忠志氏が、昨年のオーストラリア大陸横断に引き続き、このたびアフリカ横断に成功。アフリカ東岸ケニアのモンバサから西岸カメルーンのドアラまで約五千キロを、リヤカー「田吾作II」を引いてハラ沙漠横断を目指し、カメルーンを越え、ナイジェリアを旅行中、ナイジェリ

生へのアドバースとして、「創造性を持つように」とのことであった。それから本学で溶接一本で研究を進めていただき、卒業する学生に大きな知恵を与えていただきたいと思い、溶接研究室を後にすることにしました。(上垣記)

正しく強く、正強高校の産大OB教員

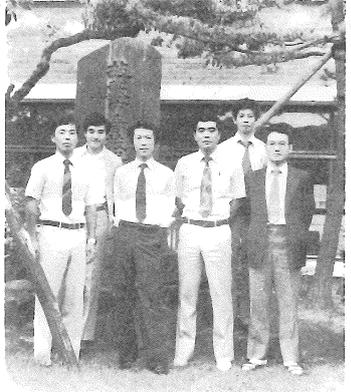
奈良の都、木々の緑を見渡す生駒の山を越え阪奈道路を自動車で走る。奈良大学(正強学園)を過ぎ二つ目の信号を北にとる。近鉄西大寺駅前正強高校がある。校舎を建築中であり雄然とした中に、高校生たちの熱気があふれている。女子職員の方の案内により、校長室にて、久保田先生を初め産大OB教員の方と面談した。正強学園は、大正十四年に萩内敬治郎先生により創立された。教育方針として、正しく強く、をモットーに教育されている。現在、大学・高校・中学・幼稚園を有する総合学園である。産大OB教員の方は9名おられ、ほとんどが正強高校を卒業し、産大を経て母校

秋晴れの9月24日(土)奈良県大和川の川沿いに大阪金剛製砥株式会社を訪ねた。大阪金剛製砥(株)は資本金一億円、従業員90人を擁する企業である。製造内容は磁器ヘッドメス等の表面研削、刃付けなどの精密仕上げ砥石、そして現在急成長を遂げるセラミックス専用のダイヤモンドモンド砥石、またボラゾン砥石などの製造販売を行なっている。旅行用品一切を積みだりヤカーを何者かに盗まれた。十日間必死に捜したが、ついに見つからず、やむなく計画を断念、無事に帰国された。七千二百キロ歩行距離 二百十六日(読売新聞より)

の工業科の先生をしておられる。みなさん熱心に教育されている様子で、訪問中にも生徒の交通事故で、厳しく注意しているところであつた。現在が頭髪・服装を正しく、ということを行

正強高校への道順は、近鉄奈良線西大寺駅下車、徒歩三分です。(真田記)

補習もユニークに、正強認定6級整備士という制度をもっている。1年生で6級、3年生で卒業すると6級を、国家試験にも合格というふうにする。このこと。私学の個性的教育、やる気満々のところ、話しにはずむうち……室を辞退す。



職場だより

新製品開発をめざす 大阪金剛製砥株式会社

石車の型に砥粒と結合剤との混合物を挿入し、混合物の表面をならすのである。ならすのは、やはり熟練工の腕がある所であると言われた。砥石車の焼結および成形はほとんど自動化されているとのことである。

砥石は古代から存在し、2千年の歴史があり、地味で日に当らない商品であるが、現在の電子機器部品の表面仕上げには欠かせない商品である。貴君は「現在、試作砥石で研究を行なつて

どうしても化学の知識が必要であり、その点が苦しい」と話してくれた。しかし、勉強中ではありますが、新製品開発に頑張りますと力強い言葉を返してくれた。両人が一日も早く新製品を開発し、会社の中心人物になることを期待し、会社の繁栄を祈りつつ、筆を置くことにする。(上垣記)



建物装飾工事・ビルメンテナンス
(新築洗いや出し・古家屋・神社寺あく洗い)
(大理石・タイル洗いや・定期作業(床・ガラス)
建物内外装洗いや工事

てるてる商事

代表者 美内 照男
(産大2期)

営業所 大阪市西区九条南3丁目23番24号
〒550 電話 (06) 582-0453番

松下電工(株)代行店
株式会社 大阪衛研

総合防除システム

荒木健治(交機4期)

大阪市天王寺区烏ヶ辻町100
☎ 06(771)1806(代)

段ボールケース製造販売

株式会社 ムラタ紙器

代表取締役 村田 陽行

大阪市東淀川区下新庄5丁目2-7
電話 06(328)7441番(代表)

クラブ活動記録

◎剣道部
大阪府学生剣道優勝大会
(大阪大学)
団体 二位

関西学生剣道優勝大会
(東淀川体育館)
団体 九位

(全日本学生剣道優勝大会
出場を果す)

◎合気道部
日本合気道学生選手権大会
(大阪工業大学)
団体(組手) 二位

◎釣魚研究会
全日本学生釣魚連盟関西支
部 三位

◎ボテビル部
第18回関西学生パワーリフ
ティング選手権大会
(京都大学体育館)
バンタム級 優勝

◎サイクリング部
第3回西日本大学対抗選手
権自転車競技大会
(奈良競輪場)
四〇〇〇M個人追抜競争
優勝

部春秋ルーアー・フライ大会
(琵琶湖山ノ下湾)
団体 二位

◎サッカー部
第63回天皇杯全日本サッカ
ー選手権大会 大阪大会
(万国博スポーツ広場)
ブロンズ優勝

◎野球部
阪神大学野球II部リーグ
優勝

I・II部入替戦(春季)
(万博球場)
対桃山学院大学戦

本学剣道部

全日本学生剣道優勝大会初出場

大阪産業大学に剣道部を創設以来、早や15年が経過致しました。この間、さまざまな思いを残し剣道部を去っていったOB諸氏は、今や70余名を数えようとしています。

現部員わずか12名、加えてこの70余名のOBが、この15年間絶えず目標として掲げてきたのは、全日本出場という事でありました。その積年の夢が、本年度漸く叶う事となりました。

毎年、今一步の所で躊躇みをして、一つの大会が終わるたびに、一歩を進める事のむづかしさに頭を痛め、又その力のなさに苛立ったりして来たのですが、しかしながら、今年は、昨年度から実施された「特技推せん入試制度」により新入された3名の有望な人を加え、何んとか順調に今年度の試合の大半をこなす事が出来ました。

中でも特に、今回の全日本への出場権を得ましたその予感ともなる、「関西学生剣道優勝大会」での試合結果について簡単に報告させていただきます。

まず、この大会で全日本出場権を得られるのは、出場53大学の内、上位12校でありました(ベスト16位に残ったチームの内、上位8校に残り8校により敗者復活戦を行い上位4校を加えたもの)。

本学は、1回戦京都工業と戦いながら勝利し、2回戦滋賀大学と苦戦ながらも勝利し、3回戦大阪府下大会と戦い、いよいよ全日本をかけて3回戦ベスト8へ、ここで関西の雄同志社大学と臨んだのですが、この大会で関西の雄同志社大学と取り勢に乗る甲南大学と顔を合わせる事となり、1勝4敗2分けのポイント的には差が出たものの、内容的には互角とする勝負で惜敗致しました。最後のチャンスと敗者復活戦に希望を



対桃山学院大学戦

託し、対戦相手である関西外国語大戦に挑んだのでありますが、こども大接戦の末、ついに大将戦にもつれ込み、4回生主将の渡辺君が会心の「面」で2本勝負が出来、全日本の出場権を手中に致しました。

いずれにしても、やっと幕内の土俵に上がった所です。これからは残された多くの課題に取り組みながら決して慢心する事なく、日々の練習に其々精進していきたいと思っております。

最後に今後共、校友会員の皆様方の温かいご支援並びにご鞭撻の程お願いする次第であります。

58年度主要大会戦績
% 西日本大会1回戦敗退
% 淀都戦 第2位
% 大阪府下大会 第3位
% 関西学生剣道優勝大会(ベスト12位)
(全日本出場権獲得)
(中島記)

「躍動せよ、君の感性」 第18回 阪駒祭日程

日	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
10月30日(日)	開会式	産大吹奏楽部 大規模研	吹奏楽部 大規模研							
10月31日(月)	産大吹奏楽部	産大落研	産大落研	産大落研	産大落研	産大落研	産大落研	産大落研	産大落研	産大落研
11月1日(火)	体育祭									
11月2日(水)	産大軽音	産大落研	産大落研	産大落研	産大落研	産大落研	産大落研	産大落研	産大落研	産大落研
11月3日(木)	一般参加	大谷女子短大	大谷女子短大	大谷女子短大	大谷女子短大	大谷女子短大	大谷女子短大	大谷女子短大	大谷女子短大	大谷女子短大

二勝一敗で一部昇格
◎スキー部
オリーンプススラローム大会
(六甲山人口スキー場)
スラローム 優勝

◎自動車部
全関西学生自動車連転競技選手権大会
(大阪自動車学校)
団体 四位

八月二十日と二十一日に行なわれた「第五回大東市民まつり」は好天に恵まれ、民まつりにあふれていました。熱気にあふれていました。今回は新しい試みとして83 DAITO・FESTI

第五回 大東市民まつり 七万人が賑わう

又、まつりの花形であるパレードでは大阪産業大学吹奏楽部が先頭をきって行進し、審査の結果「敢闘賞」に輝きました。

新任者紹介

山根桂子氏は昭和五十八年六月四日より七月十九日まで、文部省への大学の定員増申請の事務に携われ、夏期休暇を経て、校友会員増申請の事務に携われ、昭和五十八年九月十四日より永年勤務。誠に事務に精通され、事務能力の堪能な方でしたが、満六十九歳で、家庭の事情等により昭和五十八年七月二十日に惜しまれつつ、退職されました。後任として、西阪光子氏(大東市)が昭和五十八年九月十一日より勤務。渡辺笑子氏(大東市)は昭和五十八年九月二十二日より過のうち、火・木曜日

編集後記

会報第25号も、やっとのことと発行にこぎつけて、ホッとしたいところですが、校友会員の皆さまとのパイプを太くする意味から、是非、記事を投稿して下さい。支那を作りたいが方法が分からない、自分の住んでいる町には卒業生はどれくらいいるのか、近所にこういう珍らしいものがある、等々、なんでも結構です。疑問点、ご意見、ご希望などを飾らずに書いて下さい。ベースの許す限り掲載して行きたいと思っております。今回は6ページ建ての新聞になりましたが、次

編集後記

回以降は機関紙充実を目指して、より一層カンパリたいとハッスルしております。皆さまのご指導をお願い致します。(金丸記)

大阪産業大学 大阪産業大学短期大学部 《募集要項》

●募集学部
経営学部
経営学科 経営学専攻
経営学科 交通経営学専攻
工学部I部・II部
機械工学科、交通機械工学科
土木工学科(I部のみ)
短期大学部
自動車工学科

●試験日

学部	推薦	一次	二次
経営学部	11月29日	2月7日	3月12日
工学部I部	11月30日	2月8日	3月12日
工学部II部	書類選考	2月9日PM	3月12日PM
短期大学部	11月30日PM	2月9日	3月12日

●問合せ先
〒574 大東市中垣内3-1-1
大阪産業大学入試事務室
☎0720(71)1251(内線203、209)

大阪産業大学附属歯科衛生士学院 《募集要項》

歯科衛生士学科
●募集人員 30名
●修業年限 2年
●願書受付
推薦入学 昭和58年11月1日㊤～11月14日㊤
一次入学 昭和59年1月10日㊤～1月23日㊤
二次入学 昭和59年2月7日㊤～2月20日㊤

●試験日
推薦入学 昭和58年11月17日㊤
一次入学 昭和59年1月26日㊤
二次入学 昭和59年3月1日㊤

●試験科目
推薦入学 英語A、現代国語、面接
一次入学 英語A、現代国語、生物、面接
二次入学 一次入学と同じ

●卒業後の取得資格
卒業生には歯科衛生士国家試験の受験資格が得られ、これに合格すると歯科衛生士免許が与えられる。

※問合せ先
〒553 大阪市福島区吉野1丁目22-18
大阪産業大学附属歯科衛生士学院
☎06-446-1251

大阪産業大学高等学校 《募集要項》

●募集科
本校
普通・商業・土木・電気
自動車・機械の各科

大東校舎 普通科 { 普通コース
体育コース

●試験日
昭和59年2月15日㊤ 筆記試験
16日㊤ } 面接試験
17日㊤

●問合せ先
〒536 大阪市城東区古市1-20-26
大阪産業大学高等学校入試係
TEL 06(939)1491(代)